

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1113	(H.22)No.	1113
-----------	------	-----------	------

事務事業名		エコツーリズム推進事業	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
産業部	商工観光室	永岡 良仁	63-7648
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 21 年度 ~ 平成 23 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	2	観光
	小施策	1	魅力ある観光地づくり
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	363801
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	商工費	ふるさと雇用再生特別基金事業
項	商工費	(小事業名)
目	観光費	エコツーリズム推進事業

3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>・国の「ふるさと雇用再生特別基金事業」を活用し、赤目四十八滝渓谷保勝会へのエコツアーガイドの雇用育成事業を委託する。 委託先: 赤目四十八滝渓谷保勝会</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>エコツーリズムを推進し、観光客誘致を目指す。 地域資産を掘り起こし、磨き上げ、着地型観光ルートとしての商品化を目指す。</p>
--	---

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
主な事業の実績・計画	・委託料 エコツーリズム推進事業委託 エコツアーガイド2人	・委託料 エコツーリズム推進事業委託 エコツアーガイド2人 5,580 間接経費 1,000			
直接事業費	6,580千円	6,580千円			
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金	6,580	6,580			
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 0	0	0	0	0
人工数					
職員	0.17人	0.15人			
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 1,241千円	1,095千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 7,821千円	7,675千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	養成したエコツアーガイド数【延べ値】	-	-	-	-	-
	実績		-	2	2	-	-
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
平成23年度でふるさと雇用再生特別基金事業が終了予定。	

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について その他団体
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託【業務量の50%以上相当】	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 平成23年度事業完了予定	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 新たな財源の確保等、継続に向けた工夫が必要である。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1114	(H.22)No.	1114
-----------	------	-----------	------

事務事業名	観光施設機能回復促進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
産業部	商工観光室	永岡 良仁	63-7648
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 22 年度 ~ 平成 23 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	2	観光
	小施策	2	集客交流機能の向上
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	363802
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	商工費	ふるさと雇用再生特別基金事業
項	商工費	(小事業名)
目	観光費	観光施設機能回復促進事業

3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>国の「ふるさと雇用再生特別基金事業」を活用し、経年劣化により機能低下してきている観光施設の補修等を踏まえ、機能回復への作業業務を委託する。 委託先: 赤目四十八滝渓谷保勝会</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>経年劣化により魅力が減少してきている観光施設が、この事業により魅力を取り戻し低迷する観光誘客数に歯止めをかけ、増加に転じられるよう魅力アップに結びつける。</p>
---	---

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	委託料 観光施設機能回復促進事業 作業員2人 5,094 間接経費 1,400	委託料 観光施設機能回復促進事業 作業員2人 5,094 間接経費 1,400	補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
直接事業費	6,494千円	6,494千円			
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金	6,494	6,494			
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 0	0	0	0	0
人工数					
職員	0.14人	0.12人			
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 1,022千円	876千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 7,516千円	7,370千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	営繕件数	-	-	-	-	-
	実績		-	-	27	-	-
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
平成23年度でふるさと雇用再生特別基金事業が終了予定。	

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について その他団体	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[業務量の50%以上相当]	協働等の今後の取組について 継続実施	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
平成23年度事業完了予定	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 新たな財源の確保等、継続に向けた工夫が必要である	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1115	(H.22)No.	1115
-----------	------	-----------	------

事務事業名		観光振興対策費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		商工観光室		永岡 良仁	63-7648
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	2	観光
	小施策	1	魅力ある観光地づくり
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	363501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	商工費	観光振興対策費	
項	商工費	(小事業名)	
目	観光費	観光振興対策費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
観光資源の活用と観光施設の整備を図りつつ、観光産業振興のために各種事業を実施し、観光全般の振興を図る。	

めざす効果(事業目的)	
名張市の知名度の向上と入込客数の増加を目指す。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	・旅費 294 ・需用費 1,882 ・委託料 1,507 ・賃借料 40 ・修繕費 298 ・報償費 33 ・負担金 818		・旅費 534 ・需用費 2,460 ・役務費 260 ・委託料 1,673 ・賃借料 60 ・修繕費 300 ・報償費 60 ・負担金 864		補助金・交付金		
					その他 ()		
	直接事業費	4,870千円	6,211千円	6,211千円	6,211千円	6,211千円	6,211千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他()						
	一般財源	(0) 4,870	6,211	6,211	6,211	6,211	6,211
人工数	職員	0.21人	0.18人	0.18人	0.18人	0.18人	0.18人
	臨時職員等						
	概算人件費	(0千円) 1,533千円	1,314千円	1,314千円	1,314千円	1,314千円	1,314千円
	+ 総事業費	(0千円) 6,403千円	7,525千円	7,525千円	7,525千円	7,525千円	7,525千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	観光協会ホームページへの1日平均アクセス 件数	-	-	-	-	440
	実績		410	283	290		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の 対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 一部実践している	協働等の主な相手先について その他団体
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 事業協力	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか できる	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(事務改善)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 観光展・観光キャンペーン等において、名張市観光協会との協働や調整による事業改善は必要。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1116	(H.22)No.	1116
-----------	------	-----------	------

事務事業名		名張らしさ観光商品企画・販売事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		商工観光室		永岡 良仁	63-7648
新・継	事業期間			根拠法令等	
継続	平成 22 年度 ~ 平成 23 年度				

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3 人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5 都市産業の振興
	施策	2 観光
	小施策	1 魅力ある観光地づくり
重点施策コード 2-6.名張ブランドづくりの推進(名張ブランドの確立と発信)		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	363803
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	商工費	ふるさと雇用再生特別基金事業	
項	商工費	(小事業名)	
目	観光費	名張らしさ観光商品企画・販売事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>「名張らしさ」とは何かを研究し見出す。 地域資源の再発掘は観光戦略を確立し、観光宣伝を行っていく指針となり、そこから生み出される観光商品を造成し、これを販売することによって観光客誘致を促進し、地域の観光産業の活性化を図っていく。 業務委託先:名張市観光協会</p>	

めざす効果(事業目的)	
<p>名張らしさを前面に押し出した観光商品の企画を行い、販売することで観光振興を図る。</p>	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	・委託料 名張らしさ観光商品企画・販売事業 臨時職員2名 間接経費	・委託料 名張らしさ観光商品企画・販売事業 臨時職員2名 5,084 間接経費 116	補助金・交付金	その他 ()	
直接事業費	3,757千円	5,200千円	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金	3,757	5,200			
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 0	0	0	0	0
人工数					
職員	0.07人	0.22人			
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 511千円	1,606千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 4,268千円	6,806千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	人	-	-	-	-	480,000
	実績		297,000	461,000	312,000		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
平成23年度でふるさと雇用再生特別基金事業が終了予定。	

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について その他団体
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[業務量の50%以上相当]	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 平成23年度事業完了予定	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 観光振興を図るため、観光商品の企画や商品開発を継続して行う必要がある。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1117	(H.22)No.	1117
-----------	------	-----------	------

事務事業名		名張観光まち歩き事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		商工観光室		永岡 良仁	63-7648
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	2	観光
	小施策	2	集客交流機能の向上
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	363507
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	商工費	観光振興対策費	
項	商工費	(小事業名)	
目	観光費	名張観光まち歩き事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>名張の歴史ある町並み等の資源や資産を発掘し保全活用を進めることにより、新たな散策ルートの設定や町並みを活かした仕掛けづくり、それらを紹介する語り部(ボランティアガイド)の育成を進める。</p>	

めざす効果(事業目的)	
<p>観光地としての利便性・話題性を創出し、より多くの観光客確保へと繋げる。</p>	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	負担金 名張観光まち歩き事業	負担金 名張観光まち歩き事業	補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
直接事業費	82千円	150千円	150千円	150千円	150千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 82	150	150	150	150
人工数	職員	0.15人	0.13人	0.13人	0.13人
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 1,095千円	949千円	949千円	949千円	949千円
+ 総事業費	(0千円) 1,177千円	1,099千円	1,099千円	1,099千円	1,099千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	観光入込客数(やなせ宿及び名張藤堂家邸)	-	-	-	-	-
	実績		17,830	23,582	22,414		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について 市民公益活動団体等
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 補助・助成	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(事務改善)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 観光情報を発信する語り部の養成や育成は観光振興上不可欠であり、人材確保の面から新たな事業の展開も必要と考える。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1182	(H.22)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名	エコツーリズム構想策定事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
産業部	商工観光室	永岡 良仁	63-7648
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 23 年度 ~ 平成 24 年度	エコツーリズム推進法	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	2	観光
	小施策	1	魅力ある観光地づくり
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	363512
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 商工費	観光振興対策費	
項 商工費	(小事業名)	
目 観光費	エコツーリズム構想策定事業	

3. 事務事業の概要

事業概要
産業振興ビジョンに掲げるエコツーリズムの推進を図るため、エコツーリズム推進法による全体構想を策定し、特定自然観光資源の指定による保護と自然環境を活かした地域観光の活性化を図る。

めざす効果(事業目的)
全体構想を策定することにより、エコツーリズム推進法に基づき、特定自然観光資源を指定し、それを活かした効果的・戦略的な取り組みを図ることができる。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
主な事業の実績・計画		・エコツーリズム構想策定事務委託料(4,800千円) ・事業推進報償費(200千円) ・旅費(100千円) ・需用費(200千円)	・エコツーリズム構想策定業務委託料(5,000千円)		
直接事業費		5,300千円	5,000千円		
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金		1,000	1,000		
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 0	4,300	4,000	0	0
人工数		0.41人	0.18人		
職員					
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 0千円	2,993千円	1,314千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 0千円	8,293千円	6,314千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	エコツーリズム推進協議会の会議開催回数	-	-	-		
	実績		-	-	-		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について 現時点で相手先は確定していない
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 実行委員会・協議会設置	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 観光都市名張としての魅力向上のため、エコツーリズム推進法に基づく基本構想を策定し、エコツーリズムの推進を図っていくことは必要。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1183	(H.22)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名 着地型観光推進事業(緊急雇用創出事業)			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
産業部	商工観光室	永岡 良仁	63-7648
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 23 年度 ~ 平成 23 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	2	観光
	小施策	2	集客交流機能の向上
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	363701
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	商工費	着地型観光推進事業(緊急雇用創出事業)
項	商工費	(小事業名)
目	観光費	着地型観光推進事業(緊急雇用創出事業)

3. 事務事業の概要

事業概要	
産業振興ビジョンに基づき、観光振興の推進に向けた着地型観光事業の商品化を図る。そのために必要なリサーチや聞き取り、とりまとめ等を緊急雇用創出事業を活用して実施する。	

めざす効果(事業目的)
着地型観光の商品化に向けて、市場のニーズを把握し、反映させることにより、効果的な観光振興の推進が図られる。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画		・臨時雇用賃金(1,632千円) ・社会保険料(252千円)	補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
直接事業費		1,884千円			
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金		1,884		
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 0	0	0	0	0
人工数	職員	0.15人			
	臨時職員等		1.00人		
概算人件費	(0千円) 0千円	1,095千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 0千円	2,979千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3062	(H.22)No.	3062
-----------	------	-----------	------

事務事業名		内水面資源観光活用事業補助金			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		商工観光室		永岡 良仁	63-7648
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施 策	2	観光
	小 施 策	1	魅力ある観光地づくり
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	363504
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	商工費	観光振興対策費	
項	商工費	(小事業名)	
目	観光費	内水面資源観光活用事業補助金	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>内水面資源の観光活用のための稚魚放流やイベント等により、内水面の保護整備を図っている。 名張川漁業協同組合 長瀬太郎生川漁業協同組合 青蓮寺川香落漁業協同組合</p>	

めざす効果(事業目的)	
<p>内水面資源の観光活用のため、稚魚の放流による漁場の確保や親水型レクリエーションの場として観光資源化するなど、河川環境の整備や内水面資源の保護に努める。</p>	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費] ・補助金 名張川漁業協同組合 2,279.5 長瀬太郎生川漁業協同組合 239.4 青蓮寺川香落漁業協同組合 66.5	[事業内容(事業量)・事業費] ・補助金 名張川漁業協同組合 2,279.5 長瀬太郎生川漁業協同組合 239.4 青蓮寺川香落漁業協同組合 66.5	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
主な事業の実績・計画			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	
			・補助金 名張川漁業協同組合 2,279.5 長瀬太郎生川漁業協同組合 239.4 青蓮寺川香落漁業協同組合 66.5	・補助金 名張川漁業協同組合 2,279.5 長瀬太郎生川漁業協同組合 239.4 青蓮寺川香落漁業協同組合 66.5	・補助金 名張川漁業協同組合 2,279.5 長瀬太郎生川漁業協同組合 239.4 青蓮寺川香落漁業協同組合 66.5	
直接事業費	2,585千円	2,586千円	2,586千円	2,586千円	2,586千円	
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他()					
一般財源	(0) 2,585	2,586	2,586	2,586	2,586	
人工数	職員	0.10人	0.09人	0.09人	0.09人	0.09人
	臨時職員等		0.03人	0.03人	0.03人	0.03人
概算人件費	(0千円) 730千円	708千円	708千円	708千円	708千円	708千円
+ 総事業費	(0千円) 3,315千円	3,294千円	3,294千円	3,294千円	3,294千円	3,294千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	回	-	-	-	-	-
	実績		6	6	6		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 一部実践している	協働等の主な相手先について その他団体
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 事業協力	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 稚魚放流事業等により、名張の河川には多くの釣り人から支持を得ており、河川を資源とした観光振興の面からも事業を継続していく必要がある。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3063	(H.22)No.	3063
-----------	------	-----------	------

事務事業名		名張夏まつり事業補助金			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		商工観光室		永岡 良仁	63-7648
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	2	観光
	小施策	1	魅力ある観光地づくり
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	363505
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	商工費	観光振興対策費	
項	商工費	(小事業名)	
目	観光費	名張夏まつり事業補助金	

3. 事務事業の概要

事業概要	
名張川納涼花火大会は、実行委員会(名張商工会議所・名張市観光協会・名張市)として組織運営されている。	

めざす効果(事業目的)	
名張市の夏の風物詩として長い歴史があり、市民はもとより周辺地域にも認知された、名張市最大の集客イベントとなっている名張川納涼花火大会の運営を補助する。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)							
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]									
主な事業の実績・計画	・補助金 名張川納涼花火大会運営補助		・補助金 名張川納涼花火大会運営補助		<table border="1"> <tr><td>市が直接実施</td></tr> <tr><td>業務委託(全部・一部)により実施</td></tr> <tr><td>指定管理</td></tr> <tr><td>補助金・交付金</td></tr> <tr><td>その他 ()</td></tr> </table>			市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金	その他 ()
	市が直接実施											
業務委託(全部・一部)により実施												
指定管理												
補助金・交付金												
その他 ()												
				平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)						
				・補助金 名張川納涼花火大会運営補助	・補助金 名張川納涼花火大会運営補助	・補助金 名張川納涼花火大会運営補助						
直接事業費		2,100千円	2,100千円	2,100千円	2,100千円	2,100千円	2,100千円					
財源内訳 (千円)	国庫支出金											
	県支出金											
	地方債											
	その他()											
一般財源	(0)	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100					
人工数		0.21人	0.16人	0.16人	0.16人	0.16人	0.16人					
概算人件費	(0千円)	1,533千円	1,168千円	1,168千円	1,168千円	1,168千円	1,168千円					
+ 総事業費	(0千円)	3,633千円	3,268千円	3,268千円	3,268千円	3,268千円	3,268千円					

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	人	-	-	-	-	-
	実績		50,000	50,000	50,000		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について その他団体
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 実行委員会・協議会設置	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 実行委員会として組織されていますが、そのうち警備は安全対策に対して市の役割が特に重要視され、その責任と費用負担が求められている。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3064	(H.22)No.	3064
-----------	------	-----------	------

事務事業名		名張市観光協会補助金			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		商工観光室		永岡 良仁	63-7648
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	2	観光
	小施策	2	集客交流機能の向上
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	363503
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	商工費	観光振興対策費	
項	商工費	(小事業名)	
目	観光費	名張市観光協会補助金	

3. 事務事業の概要

事業概要	
観光産業の振興のため、名張市観光協会を中心として、観光資源の発掘や魅力あるまちづくりなど新たな取り組みをはじめ、情報発信や物産の振興など、市で取り組めない様々な事業を展開する。	

めざす効果(事業目的)	
民間活力により、観光資源の活性化と観光産業振興のための各種事業を実施し、入込客数の増大と観光産業基盤の確立を目指す。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費] ・補助金 社団法人 名張市観光協会 運営補助 4,500 社団法人 名張市観光協会 育成事業補助 2,000	[事業内容(事業量)・事業費] ・補助金 社団法人 名張市観光協会 運営補助 4,500 社団法人 名張市観光協会 育成事業補助 2,000	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	
			・補助金 社団法人 名張市観光協会運営 補助 4,500 社団法人 名張市観光協会 育成事業補助 2,000	・補助金 社団法人 名張市観光協会運営 補助 4,500 社団法人 名張市観光協会 育成事業補助 2,000	・補助金 社団法人 名張市観光協会運営 補助 4,500 社団法人 名張市観光協会 育成事業補助 2,000	
直接事業費	6,500千円	6,500千円	6,500千円	6,500千円	6,500千円	
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他()					
一般財源	(0) 6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	
人工数	職員	0.18人	0.16人	0.16人	0.16人	0.16人
	臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 1,314千円	1,168千円	1,168千円	1,168千円	1,168千円	
+ 総事業費	(0千円) 7,814千円	7,668千円	7,668千円	7,668千円	7,668千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	観光協会ホームページへの1日平均アクセス 件数	-	-	-	-	440
	実績		410	283	290		
	目標						
	実績						
考察及び今後の 対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 一部実践している	協働等の主な相手先について その他団体
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) イベント・行事等の共催	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など	
社団法人となって6年が経過したが、運営基盤がなお脆弱であり、期待される役割や機能を発揮するためには、更なる運営基盤の強化が必要。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3082	(H.22)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名		着地型観光事業促進支援事業	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
産業部	商工観光室	永岡 良仁	63-7648
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 22 年度 ~ 平成 24 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	2	観光
	小施策	2	集客交流機能の向上
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	363510
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	商工費	観光振興対策費	
項	商工費	(小事業名)	
目	観光費	着地型観光事業促進支援事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>名張市の観光事業の中心となる着地型観光を促進するにあたり、温泉施設等を有する事業者に対し、悪化する経営状況の緊急支援として補助金を交付する。</p>	

めざす効果(事業目的)	
<p>管理運営に多大な経費を要する温泉施設等を有する事業者の事業継続を支援し、名張市の着地型観光の促進を図る。</p>	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
			補助金・交付金	その他 ()	
主な事業の 実績・計画	着地型観光事業促進支援事業補助金	着地型観光事業促進支援事業補助金(400千円×3施設+300千円×1施設)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
			着地型観光事業促進支援事業補助金(400千円×3施設+300千円×1施設)		
直接事業費	821千円	1,500千円	1,500千円		
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 821	1,500	1,500	0	0
人工数	職員		0.15人	0.15人	
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 0千円	1,095千円	1,095千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 821千円	2,595千円	2,595千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	人	-	-	-	-	-
	実績		13,850	12,787	13,089		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 着地型観光の推進により、温泉施設を有する事業者の経営状態が向上することにより、支援を縮小していく	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5019	(H.22)No.	5019
-----------	------	-----------	------

事務事業名	キャンプ場管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
産業部	商工観光室	永岡 良仁	63-7648
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 20 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	2	観光
	小施策	2	集客交流機能の向上
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	364002
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	商工費	観光施設管理費
項	商工費	(小事業名)
目	観光費	キャンプ場管理費

3. 事務事業の概要

事業概要
・赤目四十八滝キャンプ場の運営及び維持管理

めざす効果(事業目的)
観光地に訪れる観光客のための便益施設として、指定管理者制度により入場者の増大と整備を図る。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕料 194 ・役務費 18 ・委託料 1,750 ・土地借料 687 ・備品購入費 283 	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕料 200 ・役務費 20 ・委託料 1,750 ・土地借料 787 ・備品購入費 210 ・工事請負費 300 	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕費 ・役務費 ・委託料 ・土地賃借 ・備品購入費 ・工事請負費 	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕費 ・役務費 ・委託料 ・土地賃借 ・備品購入費 ・工事請負費 	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕費 ・役務費 ・委託料 ・土地賃借 ・備品購入費 ・工事請負費
	直接事業費	2,931千円	3,267千円	3,267千円	3,267千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 2,931	3,267	3,267	3,267	3,267
人工数					
職員	0.17人	0.14人	0.14人	0.14人	0.14人
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 1,241千円	1,022千円	1,022千円	1,022千円	1,022千円
+ 総事業費	(0千円) 4,172千円	4,289千円	4,289千円	4,289千円	4,289千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	赤目四十八滝キャンプ場利用者数	-	-	-	-	-
	実績		3,909	4,442	4,086		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について 市民公益活動団体等
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[業務量の50%以上相当]	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 指定管理者制度による管理運営と、入場者数の増大を受託事業者の自助努力により拡充する。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5020	(H.22)No.	5020
-----------	------	-----------	------

事務事業名		観光施設管理費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		商工観光室		永岡 良仁	63-7648
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施 策	2	観光
	小 施 策	2	集客交流機能の向上
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	364001
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	商工費	観光施設管理費	
項	商工費	(小事業名)	
目	観光費	観光施設管理費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
青蓮寺湖周辺等、市内にある観光施設(公園、トイレ、ハイキングコース)の維持管理を行う。	

めざす効果(事業目的)	
観光施設が清潔、安全、快適な状態が保たれるように、きめ細やかな維持管理を行い、集客交流機能の向上や観光地への入込客数増加を目指す。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ()		
主な事業の実績・計画	・需用費 1,596 ・役務費 481 ・委託料 5,374 ・賃借料 2		・需用費 1,950 ・役務費 900 ・委託料 6,040 ・賃借料 2		平成24年度(計画) 平成25年度(計画) 平成26年度(計画) ・需用費 8,900千円 8,900千円 8,900千円 ・役務費 ・委託料 ・賃借料		
	直接事業費	7,452千円	8,892千円	8,900千円	8,900千円	8,900千円	8,900千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他()						
一般財源	(0) 7,452	8,892	8,900	8,900	8,900	8,900	
人工数	職員 0.23人	0.19人	0.19人	0.19人	0.19人	0.19人	
	臨時職員等						
概算人件費	(0千円) 1,679千円	1,387千円	1,387千円	1,387千円	1,387千円	1,387千円	
+ 総事業費	(0千円) 9,131千円	10,279千円	10,287千円	10,287千円	10,287千円	10,287千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	人	-	-	-	-	480,000
	実績		297,000	461,000	312,000		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 観光施設の適正な維持管理の継続が必要である。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	6085	(H.22)No.	6085
-----------	------	-----------	------

事務事業名		広域観光事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		商工観光室		永岡 良仁	63-7648
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施 策	2	観光
	小 施 策	3	広域観光戦略
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	363502
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	商工費	観光振興対策費	
項	商工費	(小事業名)	
目	観光費	広域観光事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> 東大和西三重観光連盟への負担金 名張、伊賀、津観光振興協議会への負担金 	

めざす効果(事業目的)	
東大和西三重観光連盟など近隣市村との連携により、観光エリアも広がり、より多くの観光客誘致に繋げる。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	・負担金 名張・伊賀・津観光振興協議会 150 東大和西三重観光連盟 250		・負担金 名張・伊賀・津観光振興協議会 150 東大和西三重観光連盟 250		補助金・交付金		
					その他 ()		
直接事業費	400千円	400千円	250千円	250千円	250千円		
財源内訳 (千円)	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他()						
一般財源	(0) 400	400	250	250	250		
人工数	職員	0.31人	0.21人	0.21人	0.21人	0.21人	0.21人
	臨時職員等						
概算人件費	(0千円) 2,263千円	1,533千円	1,533千円	1,533千円	1,533千円	1,533千円	
+ 総事業費	(0千円) 2,663千円	1,933千円	1,783千円	1,783千円	1,783千円	1,783千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	件	-	-	-	-	25
	実績		20	18	20		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について その他団体
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 実行委員会・協議会設置	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 広域的な観光振興として、東大和西三重観光連盟等との連携協働は不可欠であり、拡充していく必要がある。	